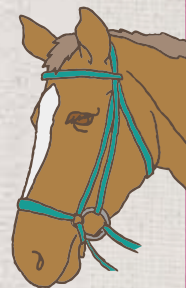


馬事公苑と うまの話



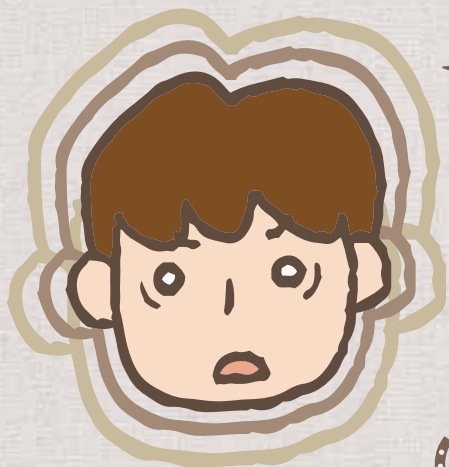
●幻のオリンピックと馬事公苑のオープン

1940（昭和15）年に東京で開催することを予定していた第12回オリンピック東京大会は、戦争などの影響で実現に至りませんでした。同年9月に、皇太子殿下（現在の上皇陛下）ご誕生の奉祝記念行事の一環として整備され、日本初の総合的な馬事施設としてオープンしたのが馬事公苑です。



当時の練習風景

もしかして…



タイムスリップ
してる…!?

●馬事公苑で眠ったウラヌス号

馬事公苑は、1932(昭和7)年のロサンゼルスオリンピックで西竹一騎手とともに優勝した「ウラヌス」という馬が最期の時を過ごした場所でもあります。

東京麻布生まれ、豪快で天真爛漫な資産家だった西騎手は、大柄で荒々しいあばれ馬だったウラヌスに惚れ込み、硫黄島の戦いで戦車第26連隊隊長として戦死するまで、ウラヌスのたてがみを懐に入れ、肌身離さず持っていたと伝えられています。



日本人唯一の馬術競技金メダリスト西竹一騎手と愛馬ウラヌス。西騎手は、この活躍とその出自や性格から「パロン西」と呼ばれていた。(本別町歴史民俗資料館所蔵)

おまえさん、
ウラヌスを探してるのかい？

わあ！
銅像がしゃべった！

ウラヌスって言ったら、
オリンピックで優勝した
有名な馬じゃねえか。

ウラヌス…？

ウラヌスのお気に入りの場所
を案内してやるよ。

一緒に探してくれるのかな。
ついて行ってみよう。

※世田谷区内全域の道路・
公園は禁煙です

みちのある暮らし

●大山道 地域風景資産 (第1回)

江戸時代に庶民が大山を参拝するルートとして親しまれた大山道(矢倉沢往還)は、赤坂から大山までをつなぐルートです。大山は^{あふり}阿夫利山(雨降り山)とも呼ばれ、農業の豊作や商売繁盛を祈ったと言われています。

大山道にまつわるものを探してみよう！



大山道追分

道しるべは、道の分岐点にあって、それぞれの道が進む方向・目的地、距離などが記されています。

馬事公苑界わいには、大山道の他にも、登戸道、滝坂道など、古くからの道がたくさんあります。道しるべを探しながら歩いてみるのもいいかもしれませんね！

「キセルおじさん」と言やあ、おれのことさ！



大山道児童遊園にある、当時の旅人の様子を表現した銅像



地域風景資産 って何？

まちの中にある、生活や文化が感じられる街並みや賑わいなど、そこに暮らす人々の心に共有され、みんなが誇りと愛着を持っている大切な風景を守り、育て、つくることを目的として、世田谷区風景づくり条例に基づいて、区民が関わり、風景づくりの活動に着目して選定されたものです。

●用賀プロムナード (いらか道) 地域風景資産 (第1回)

用賀プロムナードは用賀駅と世田谷美術館を結ぶ、安心して楽しく歩ける「人」中心の道として、1986(昭和61)年に完成しました。

約1kmの道のりをつなぐ遊歩道で、脇を流れる水路や淡路瓦で舗装された「いらか道」には百人一首や水の流れを感じさせる模様が刻まれています。歴史の趣を五感で楽しみ、“人はのびのびと、車はつつましく”歩く人と車がいい関係をつくっている道となっています。



用賀プロムナード



いらか道に刻まれた百人一首

ウラヌスはみどりのある
みちが大好きなんだ。特に
このあたりは歩きやすくて
しゃれた道が多いんでい。



●玉石垣と桜並木 (千歳通り) 地域風景資産 (第1回)

千歳通りは、1667(寛文7)年の江戸時代から明治・大正・昭和初期まで田畑に水を注ぐ品川用水の通り道でした。田畑が住宅地へと変わり、役目を終えた用水は埋め立てられ、1964(昭和39)年の東京オリンピックに伴って用水路跡が整備され、いまの千歳通りとなりました。今では採掘が禁止されている玉石でつくられた石垣と、春は桜のトンネル、夏は緑のトンネルとなる桜並木の組み合わせは歴史や地形が感じられる貴重な風景です。



春の千歳通り



夏の千歳通り

この道、
知ってる!



ウラヌスもお気に入り？！
馬事公苑界わいのみどころ

現代へ受け継がれる 風俗



世田谷のボロ市 代官行列

●ボロ市 地域風景資産 (第2回)

毎年12月と1月にはボロ市が開催され、世田谷線の世田谷駅や上町駅からボロ市通り商店街は大変なにぎわいになります。

もともと北条氏によって開かれた楽市から始まったこのボロ市は、骨董品や古着などの出店が多いのも特徴です。また、神棚や臼など日本人の暮らしに根ざしたお店も印象的です。商店街のシャッターに江戸時代の大山詣の様子が描かれていたり、世田一ハウス(世田谷1-48-18)では、ボロ市の当日にまちの歴史や区内の風景づくりの取り組みを紹介しています。

開催時期 12月と1月の15・16日



ウラヌスは祭りとか
勝負事^{でえ}が大好きなんでい。
豪快な西 竹一騎手と
よく気が合ってな。

ボロ市(夜)



● 稲荷森稲荷神社の大太鼓



例大祭の様子

開催時期 例大祭 10月

江戸時代以前から五穀豊穡の神を祀る稲荷森稲荷神社には、直径6尺(約2m)、重さ6トンの「あ・ん太鼓」と呼ばれる大太鼓があります。東京都23区内で一番大きいこの太鼓は、「横根睦」という氏子たちが工面したお金で奉納したものです。

● 桜新町 ねぶた祭

桜新町駅前通りとサザエさん通りでは、毎年秋に青森のねぶた、踊り手(ハネト)や太鼓でにぎわう「桜新町ねぶた祭」が開催されています。2004(平成16)年、桜新町商店街誕生50周年を「地域の人々と一緒に楽しめるイベントで祝いたい」という思いで始まりました。今では、毎年子どもから大人まで数万人が訪れる桜新町の大イベントへと成長しました。

開催時期 9月



ねぶた祭のねぶた



● 世田谷八幡宮の相撲

奉納相撲の様子

江戸時代に「江戸三大相撲」と呼ばれるほど有名だった奉納相撲は、世田谷八幡宮で行われています。この八幡宮の御神体は、力士だった鬼五郎左衛門が鎌倉の鶴岡八幡宮での奉納相撲で勝ち取ったものという話も残されています。

開催時期 9月

ウラスもお気に入り？！
馬事公苑界わいのみどころ

馬事公苑界わいの原風景

●松林と大櫨けやしのある世田谷新町公園



世田谷新町公園

地域風景資産 (第1回)

世田谷新町公園は、世田谷区で第1号の公園として1937(昭和12)年に開設されました。せせらぎとともに、クロマツやケヤキの大木が多く残された風景は、とても印象的な緑の豊かな空間として地域の人々を楽しませています。

昔は畑ばかり
だったんだ。



●心なごむ 桜丘の原風景

地域風景資産 (第1回)



桜丘4丁目の風景



野菜の直売所

桜丘は古くから屋敷林と畑の広がる土地で、馬事公苑界わいの原風景が残っています。

この地域では、大きな木の持ち主の苦勞に感謝の気持ちを込めて感謝状の贈呈、地域ぐるみでの落ち葉掃きなどが行われていたこともありました。

野菜の直売所のある風景からも、農とともにある現代の暮らしを垣間見ることができます。